

2018/1/27

うときゅういっきの漢字夜話（ことば夜話）

船長



昨日、アスマタトピックスで「キャプテン」という記事を書きました。

最初、その文章の終わりは「キャプテン翼」で締めくくりましたが、思うところあって書き直し版は「キャプテン・クック」に替えました。

キャプテン・クックは日本語に替えると「クック船長」という事になります。

クックさんは世界の海を探検して回った「船乗り」だったからです。

実は自分の父親は元海軍の軍人で、船乗りでした。重巡洋艦「足柄」という軍艦に乗って、今のインドネシア領、ジャワ島近辺で戦っておりました。

その親父が

「船長というのは、乗組員全員の命を預かっている。みんなが安全に航海できるように指揮するのが仕事だ。

それが第一の仕事だが、仮に遭難するようなことがあったら、船長は、すべからく、速やかに全員を退艦させ、その安全を見届けた後、最後に退艦するのが習わしだ。

場合によっては、遭難の責任を取って、自らの体を縄で船に括り付けて、船とともに運命を共にすることもある。それが船長だ」

と。

その話を聞いていたので、自分は今の会社を興した時に「代表取締役」ではなく、CEO,すなわち「最高経営責任者」と名乗りました。

みなさんに「御大層な呼称をお付けになりましたね」と揶揄されましたが、別段「代表」より「最高」の方が上だと思ったからではありません。

重きを置いたのは「最高」の方ではなく「責任者」のつもりだったのですが、言葉足らずで伝わらなかったようです。

それでご説明がてら、再度申し上げますと「最高経営責任者」というのは「最後の責任は自分が一切合切取りますから、どうぞみなさん自由にやってください。安心してくださいね。

自分は逃げたりしませんから」という社内外に対する意思の表明だったのです。

そんな思いが「キャプテン翼」と書いた後に一気に湧き上がってきて、書き直した次第です。
船長の責任は重いのです。

それを、いま一度思い出しましたので、読み直しされる皆さんには、ご迷惑かと思いましたが、敢えて書き直させて戴きました。